

○ 湖南市の概要と地方創生の取り組み

1. 広域交流拠点のまち

- ・大阪と名古屋から100km圏内、国道1号、名神栗東湖南IC、東海道51番目の石部宿がある
- ・栗東と竜王IC、国道8号にもアクセス良、JR西の草津線3駅（石部駅・甲西駅・三雲駅）がある



※人・物流（データ含）の拠点として、産業団地開発や企業誘致が活発化している

2. 水と緑に囲まれたまち

- ・中央に琵琶湖に注ぐ最大天然河川の野洲川、付近に美しい田園風景が広がる



- ・南北に阿星と岩根山系が広がり、国宝寺院の湖南三山（長寿寺・常楽寺・善水寺）がある



3. 工業のまち

- ・県内最大の湖南工業団地（291ha）をはじめとするクボタ、TOTO、三菱自動車、カルビー、大塚食品などの製造工場が立地している
- ・例）鉄鋼業、輸送用機械器具製造業の付加価値額が県内1位
- ※平成26年経済センサス活動調査



4. 伝統文化のまち

- ・江戸時代から続く近江下田焼、その他に近江一閑張、酒蔵・蔵元（北島酒造・竹内酒造）がある



5. 福祉のまち

- ・「社会福祉の父」糸賀一雄の近江学園、障害者自立支援法のモデル「発達支援システム」がある

6. 多文化共生のまち

- ・外国人の住民比率が県内ダントツで1位

7. SDGs推進のまち NEW!!

社会・経済・環境の変化に順応し、地域経済循環の創出や、多様な主体との連携による地域活力の創生に向け、「さりげない支えあいのまちづくり【シュタットベルケ構想】を提案し、SDGs未来都市に県内市町で初めて選定された



○ 湖南市の魅力を高め、可能性を探求する地方創生の取り組み

I. 湖南市きらめき・ときめき・元気創生まちづくり計画

人口減少に歯止めをかけ、「若々しいまち」を実現するために、6つの事業に取り組んでいます

- i. 安定した雇用を創出する：若者が学びを生かして働ける職場の確保
- ii. 新しいひとの流れをつくる：関係人口になるきっかけや環境づくり
- iii. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- iv. 時代にあった地域づくり
- v. 誰もが活躍できる社会をつくる：誰もが居場所と役割を持ち、活躍できる地域社会を創出
- vi. 安心して暮らせる住環境整備：子ども・若者・子育て世代・高齢者・障がい者・外国人等の誰もが暮らしやすい魅力的なまちづくりを推進

II. 湖南市SDG未来都市計画

「自分たちのまちは自分たちでつくる」を基本理念に、若者が継続的にまちづくりに参画できる仕組みづくり等に取り組んでいます
 ☆地域が主体となった持続可能なまちの創造



湖南省 観光振興の取組について

○本市のまちづくり

**第二次湖南省総合計画
後期基本計画**
(令和3年度～令和7年度)



【まちの将来像】

ずっとここに暮らしたい！
みんなで創ろう きらめき湖南

○将来像を実現するための“まちづくりの6つの目標”の一つとして

活気あるまちをつくろう
～産業が集まり、人が集うまちづくり～



目標達成に向けた取組として

『観光の振興』

施策1 地域資源を生かした観光・交流の創出

- ・観光資源の発掘、イベントの推進
- ・観光に関わる人材の育成
- ・観光客のニーズに合わせたサービスの充実 など

施策2 観光情報の発信

- ・観光情報発信の強化
- ・ホームページ、SNS等の積極的な活用 など

施策3 観光ルートの整備

- ・十二坊温泉ゆらら、湖南三山等を核とした歴史文化をつなぐ観光モデルコースの整備
- ・市内3駅を中心とした観光アクセスの充実 など



【目標指標】 観光入込客数

基準値 令和元年	令和2年 (実績)	令和3年 (実績)	令和4年 (実績)	令和5年	令和6年	目標値 令和7年
631,800人	495,300人	514,266人	590,612人	—	—	835,800人

↑
新型コロナウイルス感染症

～ 湖南省の魅力を高め、交流人口（地域外からの旅行者等、その他の地域に訪れる人々）の拡大を図るためには ～